

スコアシート	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体	解説シートの採点結果	
		評価点	重み係数	評価点	重み係数		建物全体	住居・宿泊
Q 建築物の環境品質・性能						3.3		
Q-1 室内環境			0.40			3.2		
1 音環境		1.6	0.15			1.6		
1.1 騒音		1.0	0.40					
1 1 1 暗騒音レベル		1.0	1.00	3.0			1.0	0.0
2 設備騒音対策							0.0	0.0
1.2 遮音		1.5	0.40					
1 開口部遮音性能		3.0	0.60	3.0			3.0	0.0
2 界壁遮音性能		3.0	0.40	3.0			3.0	0.0
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)	事務所対象外			3.0			0.0	0.0
4 界床遮音性能(重量衝撃源)	事務所対象外			3.0			0.0	0.0
1.3 吸音		2.0	0.20				3.0	0.0
2 温熱環境		3.4	0.35			3.4		
2.1 室温制御		3.9	0.50					
1 室温設定		3.0	0.30	3.0			3.0	0.0
2 負荷変動・追従制御性							0.0	0.0
3 外皮性能	熱貫流率の低い窓(low-eペア)、外壁を採用	4.0	0.20	3.0			5.0	0.0
4 ソーン別制御性	方位別・インテリア・ベリゾーニング、冷暖フリー空調機採用	4.5	0.50				4.0	0.0
5 温度・湿度制御							0.0	0.0
6 個別制御							0.0	0.0
7 時間外空調							0.0	0.0
8 監視システム							0.0	0.0
2.2 湿度制御		3.0	0.20	3.0			3.0	0.0
2.3 空調方式		3.0	0.30	3.0			3.0	0.0
3 光・視環境		3.2	0.25			3.2		
3.1 昼光利用		2.6	0.30					
1 昼光率		0.5	0.60	3.0			1.0	0.0
2 方位別開口	事務所対象外			3.0			0.0	0.0
3 昼光利用設備	事務室照明は昼光センサー対応	3.5	0.40	3.0			4.0	0.0
3.2 グレア対策		1.5	0.30					
1 照明器具のグレア							0.0	0.0
2 昼光制御		1.5	1.00	3.0			3.0	0.0
3.3 照度		2.0	0.15					
1 照度	設計照度約800lx(ただし、照度センサーで可変可能)	2.0	1.00	3.0			4.0	0.0
2 照度均斉度							0.0	0.0
3.4 照明制御	点滅範囲3.6m×4.8m、リモコンスイッチ対応	4.0	0.25	3.0			5.0	0.0
4 空気質環境		3.9	0.25			3.9		
4.1 発生源対策		4.0	0.50					
1 化学汚染物質	全面F☆☆☆☆	4.0	1.00	3.0			4.0	0.0
2 アスベスト対策							0.0	0.0
3 ガン・カビ等							0.0	0.0
4 レンゾネラ対策							0.0	0.0
4.2 換気		4.2	0.30					
1 換気量	SHASE-S102を満たす	4.0	0.33	3.0			4.0	0.0
2 自然換気性能		1.5	0.33	3.0			3.0	0.0
3 取り入れ外気への配慮	給気取入を全て屋上とし、排気位置との距離を設けている。	5.0	0.33	3.0			5.0	0.0
4 給気計画							0.0	0.0
4.3 運用管理		3.3	0.20					
1 CO ₂ の監視	CO ₂ センサーによる換気制御	3.5	0.50				4.0	
2 喫煙の制御		3.0	0.50				3.0	
Q-2 サービス性能			0.30			3.6		
1 機能性		3.3	0.40			3.3		
1.1 機能性・使いやすさ		3.3	0.60					
1 広さ・収納性		1.5	0.33	3.0			3.0	0.0
2 高度情報通信設備対応	コンセント要領80VA/m ² 、フリアク配線	2.6	0.33	3.0			5.0	0.0
3 ハリアフリー計画		3.0	0.33				3.0	
1.2 心理性・快適性		3.2	0.40					
1 広さ感・景観	天井高2.7m、窓カーテンウォール	3.5	0.33	3.0			4.0	0.0
2 リフレッシュスペース		2.0	0.33				3.0	
3 内装計画		4.0	0.33				3.0	0.0
2 耐用性・信頼性		3.7	0.31			3.7		
2.1 耐震・免震		3.8	0.48					
1 耐震性	保有水平耐力: Qu/Qun=1.319→lv4	4.0	0.80				4.0	
2 免震・制振性能		3.0	0.20				3.0	
2.2 部品・部材の耐用年数		3.5	0.33					
1 外壁仕上げ材の補修必要間隔	PC、押出成形セメント版、ACW、花崗岩	4.0	0.29				4.0	
2 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	床タイルカーペット、壁ビニルクロス、天井ボード類	5.0	0.12				5.0	
3 配管・配線材の更新必要間隔		3.0	0.29				3.0	
4 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.29				3.0	
2.3 適切な更新								
1 屋上(屋根)・外壁仕上げ材の更新								
2 配管・配線材の更新								
3 主要設備機器の更新								
2.4 信頼性		4.1	0.19					
1 空調・換気設備	フロア・用途ごとに換気設備の系統分け、搬送機器のINV採用	4.5	0.20				4.0	
2 給排水・衛生設備	節水器具の採用、用途ごとの系統分け	4.5	0.20				4.0	
3 電気設備	屋上への変電設備設置	3.5	0.20				4.0	
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20				3.0	
5 通信・情報設備	4階への通信機械室設置、異種(光・金属)引込み、他キャリア引込	5.0	0.20				5.0	
3 対応性・更新性		4.2	0.29			4.2		
3.1 空間のゆとり		4.6	0.31					
1 階高のゆとり	階高4.0m	5.0	0.60	3.0			5.0	0.0
2 空間の形状・自由さ	壁長さ比率0.135	4.0	0.40	3.0			4.0	0.0
3.2 荷重のゆとり	事務所: 4900N/m ² →lv5	4.0	0.31	3.0			5.0	0.0
3.3 設備の更新性		4.1	0.38					
1 空調配管の更新性	縦管は点検扉付のシャフト、横引き管は天井点検口より更新	4.0	0.17				4.0	
2 給排水管の更新性	縦管は点検扉付のシャフト、横引き管は天井点検口より更新	4.5	0.17				5.0	
3 電気配線の更新性	幹線は縦系・横系共にケーブルラック配線	5.0	0.11				5.0	
4 通信配線の更新性	幹線は縦系・横系共にケーブルラック配線	5.0	0.11				5.0	
5 設備機器の更新性		3.0	0.22				3.0	
6 バックアップスペース	バックアップスペースの確保(変電設備)	4.0	0.22				4.0	

Q-3 室外環境(敷地内)		-	0.30	-	-	3.1	
1 生物環境の保全と創出		1.0	0.30	-	-	1.0	1.0
2 まちなみ・景観への配慮	交差点からの眺望考慮、まちなみ調和、地域性のある素材(石)、あらたなシンボル	4.0	0.40	-	-	4.0	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮		4.0	0.30	-	-	4.0	
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	歴史的建築空間保存(既存オーダー柱)、地域性のある材料(石)、空間提供(ビコイ)、防犯カメラ、壁により死角無し	5.0	0.50	-	-	5.0	5.0
3.2 敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-	3.0	3.0
LR 建築物の環境負荷低減性						3.4	
LR-1 エネルギー		-	0.40	-	-	4.1	
1 建築物の熱負荷抑制	熱貫流率の低い窓(low-eペア)、外壁を採用	4.0	0.30	-	-	4.0	3.0
2 自然エネルギー利用		3.0	0.20	-	-	3.0	
2.1 自然エネルギーの直接利用		3.0	0.50	-	-	3.0	0.0
2.2 自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50	-	-	3.0	3.0
3 設備システムの高効率化	全熱交換器、CO2制御の採用	4.5	0.30	-	-	4.5	4.0
4 効率的運用		5.0	0.20	-	-	5.0	
4.1 モニタリング	各テナント毎の電力計量、BEMSの採用	5.0	0.50	-	-	5.0	5.0
4.2 運用管理体制		5.0	0.50	-	-	5.0	5.0
LR-2 資源・マテリアル		-	0.30	-	-	3.4	
1 水資源保護		3.4	0.15	-	-	3.4	
1.1 節水	節水コマ、節水器具の採用	4.0	0.40	-	-	4.0	4.0
1.2 雨水利用・雑排水再利用		3.0	0.60	-	-	3.0	
1 雨水利用システム		3.0	0.67	-	-	3.0	3.0
2 雑排水利用システム		3.0	0.33	-	-	3.0	3.0
2 低環境負荷材		3.4	0.85	-	-	3.4	
2.1 資源の再利用効率		3.0	0.35	-	-	3.0	
1 躯体材料の再利用効率	電炉鋼使用	4.0	0.67	-	-	4.0	4.0
2 非構造材料の再利用効率		1.0	0.33	-	-	1.0	1.0
2.2 持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.04	-	-	2.0	2.0
2.3 有害物質を含まない材料		3.0	0.08	-	-	3.0	3.0
2.4 既存建築躯体などの再利用		3.0	0.18	-	-	3.0	3.0
2.5 部材の再利用可能性	躯体仕上分別容易(軽鉄等)、設備テナント工事対応、再利用ユニット(OAフロア)	5.0	0.18	-	-	5.0	5.0
2.6 フロン・ハロンの回避		4.0	0.18	-	-	4.0	
1 消火剤	窒素ガス消火設備採用	4.0	0.33	-	-	4.0	4.0
2 断熱材	発泡ウレタン(ノンフロン)仕様	5.0	0.33	-	-	5.0	5.0
3 冷媒		3.0	0.33	-	-	3.0	3.0
LR-3 敷地外環境		-	0.30	-	-	2.6	
1 大気汚染防止		3.0	0.15	-	-	3.0	3.0
2 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.15	-	-	3.0	
2.1 騒音		3.0	0.33	-	-	3.0	3.0
2.2 振動		3.0	0.33	-	-	3.0	3.0
2.3 悪臭		3.0	0.33	-	-	3.0	3.0
3 風害、日照障害の抑制		3.0	0.15	-	-	3.0	
3.1 風害の抑制		3.0	0.70	-	-	3.0	3.0
3.2 日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	3.0	3.0
4 光害の抑制	外構照明なし、広告塔照明なし、外壁は石貼り仕上げ	5.0	0.10	-	-	5.0	5.0
5 温熱環境悪化の改善		1.0	0.30	-	-	1.0	1.0
6 地域インフラへの負荷抑制		3.2	0.15	-	-	3.2	
6.1 雨水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	3.0	3.0
6.2 汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	3.0	3.0
6.3 交通負荷抑制	自転車・バイク置場有り、駐車場設置、荷別き駐車場設置	4.0	0.25	-	-	4.0	4.0
6.4 廃棄物処理負荷		3.0	0.25	-	-	3.0	3.0

■ LR-1 用途別得点表		事務所	-	-	-	面積按分 総合スコア
		8913	m ²	-	-	-
1	建築物の熱負荷抑制	3.0	-	-	-	3.0
3	設備システムの 高効率化	4.0	-	-	-	4.0
	個別設備による評価	-	-	-	-	
3.1	空調設備	3.0	-	-	-	-
3.2	換気設備	4.0	-	-	-	-
3.3	照明設備	5.0	-	-	-	-
3.4	給湯設備	-	-	-	-	-
3.5	昇降機設備	4.0	-	-	-	-